

1. アフリカの飢餓に関する現状

アフリカ・サハラ以南の人々の貧困率は、41.1%を記録している。また、中部アフリカの栄養不足率は41%とどちらも深刻な状況である。

出典) ザ・ワールドバンク「世界の貧困に関するデータ」(2018)

-飢餓の大きな原因-

① 紛争

農作物を生産していた場所で紛争が起こると、そこに住んでいた農家は農地を手放さなければならなくなり、残された農作物は荒れてしまう。

② 悪天候や異常気象

地球温暖化による干ばつ、水害、または異常気象によっておこる害虫(バッタ)の大量発生。

2. 日本の食品廃棄に関する現状

年に排出される食品廃棄物等は、およそ **2,550 万トン**。そのうち、まだ食べられるのに廃棄される食品(=**食品ロス**)はおよそ **612 万トン**(※東京ドーム およそ5杯分)。

国民一人あたり、お茶碗一杯分ほどの食べ物が毎日捨てられていることになる

しかし、日本は食料の62%を輸入に頼っているという事実!!

世界規模で見ると、年間でおよそ13億トンの食品ロスが発生している。

9人に1人が栄養不足である…

⇒大切な資源の有効活用や、環境負荷への配慮のために食品ロスを減らすことが必要

現状のまとめ: 飢餓と食品ロスに関する知っておきたい事実

① 世界の食料生産量のうち **3分の1**が**廃棄**されている。

→食べられずに捨てられた食料は **2億人分**に及ぶ。

② 日本は、食料廃棄によって発生する二酸化炭素の排気量は**世界で3番目**となる。

③ 途上国の総生産量の4割は食品ロス: 保存や流通における**インフラ不足**のため
先進国の総生産量の4割は食品ロス: **過剰生産**による食べ残し、賞味期限切れ

出典) : 国連 WFP ブログ「飢餓と食品ロスに関する、5つの事実」(2020)

-補足-

- ・ 2050 年までに世界人口が 96 億人に達した場合、現在のライフスタイルを維持するために必要な天然資源を供給するのに、**およそ 3 個分の地球**が必要になる可能性がある。
- ・ 毎年生産される食料全体の 1/3 に相当する、**13 億トン**、価値にして**およそ 1 兆ドルの食料**が、腐ったり劣悪な輸送や収穫方法により傷んだりしている。

3.課題と解決策

Goal 12 「**つくる責任 つかう責任**」

—持続可能な消費・生産—



[内容]

「2030 年までに小売・消費者レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄を半分にし、収穫後の損失を含めて生産・サプライチェーンにおける**食品ロスを減らす**」とされている。

-解決へのヒント-

日本の飢餓の歴史と農業

享保の大飢饉（1733～34）天明・天保と続く大飢饉の時に、青木昆陽（蘭学者）のさつま芋の栽培により飢餓が救われた。

さて、今日の日本の農業とは？ 更に、未来に向けての農業とは？ 今日から、私たちに出来ることは？